



# 南町小だより

つよく かしく あたたく

平成29年4月6日

校長 福田 俊彦

## 平成29年度 南町小学校の教育活動

校長 福田 俊彦

校庭を彩る春色の中、平成29年度の教育活動が始まりました。新1年生を迎え全校児童366名となります。南町小学校では、今年度も「みんなの子供をみんなで育てる学校」「子供が子供をはぐくむ学校」「子供が生活を創る学校」をめざし教育活動を充実させていきます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、南町小学校の子供たちをみんなの子供として見守っていただけますようお願いいたします。

本校は昭和47年度より東京都教育委員会より人権尊重教育推進校としての指定を受け、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる子供」「互いを認め合い、差別をしない・させない・見過ごさない子供」をはぐくむことを教育の根幹に置いています。子供は、学校生活を通して多様な経験を積み重ねていきます。多くの仲間と共有する経験は、自他の大切さを感じ、どのように行動したらいいか考える貴重な機会になります。以下、今年度の学校経営の概要を示します。

### 1 「子供が生活を創る」「子供が子供をはぐくむ」 子供による伝統、文化の創造

昨年度、南町小学校の「思いやり宣言」が作られました。子供が子供に発信する自他を大切にすることを通して、よりよい学校を創っていく思いが込められています。南町小学校の6年生は下学年のあこがれの存在です。そこには思いやり宣言の内容を自らの行動目標として生活を送ってきた6年生の姿があるからです。その6年生の姿が他の子供の学びとなります。6年生と共に子供たちが創った生活そのものが南町小学校の伝統、文化につながっていきます。今年度も新たな伝統、文化の1ページを創る年度とします。

### 2 「わかる」「できる」授業を 主体的な学び、対話的な学び、そして深い学びへ

子供が受け身となる授業は行いません。授業のはじめにねらいを明確に示します。何を、どのように学習するのかを伝えます。子供が戸惑うことがないように説明や質問をより具体的にします。授業の途中でも学習内容を確認できる黒板への書き方、授業の終わりに振り返りができる黒板への書き方をします。自分の参考書となるようにノート記録の仕方を充実させます。そして、分かったこと、更に努力をしなければならぬことなどについて、自問自答し次の目標をもてるような振り返りの時間をとります。

### 3 危険を回避する力の向上を 防犯ブザーの携行

自然災害、不審者、交通事故、多機能情報発信器の使用にともなうトラブルなど、子供を多様な問題が取り巻いています。これまでに経験していない問題に直面することも考えられます。自分を守る力を高めていくには、訓練や学習を積み重ね、自らの言動を振り返ることが大事になります。学校では、避難訓練やセーフティ教室、情報モラル教室、交通安全教室などの場を計画的に設け指導を継続していきます。また、SNS 学校ルールの徹底を進めていきます。「自分の命は自分で守る」力を高めていくには、ご家庭のご理解とご協力が欠かせません。宜しくお願いいたします。

これから子供が自分の成長を自覚し、自ら力を高めていける教育活動が求められていきます。本年度も本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

## ☆お願い☆

- ◆台風や落雷等のため、児童を帰宅させることが危険と判断したときには、学校に留め置き、引き取りをお願いすることもあります。また、朝登校することが危険と判断した時には、自宅待機をさせていただきます。遅刻扱いにはいたしません。児童の安全を第一に考えて、対応をお願いいたします。
- ◆学校を含む地域の震度が「5弱以上」の場合、保護者が引き取りに来るまで児童を学校に待機させます。時間がかかっても児童を引き取りに来てください。
- ◆当日午前7時の時点で、気象庁から「練馬区」について、「特別警報（大雨・強風・大雪・暴風雪等）」または「暴風警報」「暴風雪警報」が発表されている場合は臨時休業となります。
- ◆児童の安全確保のため、ご来校の際には名札を付け、門扉を開けたら閉めるようお願いいたします。
- ◆事件、事故防止のため、通学路を通っての登下校を確実にお願いいたします。